

# 教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ		
題名・副題	伝統工芸の「紙すき」を体験してみよう ～植物が温暖化防止に果たす役割を学ぼう～		
月日・時間	2018年10月27日(土) 10:00~12:00		
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館・2階実験室		
部会・講師名	会員教室 荒谷輝正	参加者数	9名
		講師数	6名
写真			
	DVD 放映による授業風景	紙すき体験の様子	
			
	親子で和紙に漉き込むキャラクターを選ぶ	ハガキの郵便番号スタンプを押す	
成果解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙は多くの木材から作られ、木は熱帯樹林を形成しており、紙を大量に消費すると熱帯樹林を減少させ温暖化を促進します。木材の代わりに「ケナフ」という一年草の植物から紙を作ると熱帯樹林を保護し、温暖化の防止に役立つことができることを解説しました。</li> <li>この授業では、日本の伝統工芸(ユネスコ文化遺産)「紙すき」で和紙のハガキを作りました。和紙の原料の一種である楮(こうぞ)は、その年に伸びた分だけを使うので無くなりません。映像でケナフの育て方「紙すき」を解説、紙すきで作ったハガキは「郵便はがき」で使えることも解説。</li> <li>子どもたちは、和紙に漉き込むキャラクターを選んで、自分で紙を漉き、ハガキを2枚作りました。保護者も体験しました。紙を漉いて作ったハガキを立てる簡単なハガキ立ても厚紙で作りました。</li> <li>最後に顕微鏡で和紙の繊維が絡み合っている様子を観察しました。また、和紙は水に入れると繊維がバラバラになってしまうことも勉強しました。</li> </ul>		